

**2014年第2回 東京大学 奨学金付き夏季短期留学プログラム 総合募集要項
(東大生向けサマープログラム)**

2014.4.14

※募集に関する情報・応募書類等は変更の可能性があります、また有益な情報・よくある質問等を後日追加して掲載する場合がありますため、最新情報を必ず Go Global 東京大学海外留学・国際交流情報ウェブサイトで確認すること。

1. 概要・趣旨

本募集要項により、以下の奨学金付き夏季短期留学プログラムに参加する学生を募集する。詳細は別紙を参照すること。

- ① 香港大学・東京大学合同サマープログラム (コード: ①HKU)
- ② 国立台湾大学・東京大学合同サマープログラム (コード: ②NTU)
- ③ 熱帯でフィールドワークに挑戦する (コード: ③UNILA)
- ④ シェフィールド大学サマープログラム (コード: ④SHEF)
- ⑤ UCサンディエゴサマープログラム (コード: ⑤UCSD)

2. 応募の流れ・スケジュール

時期	予定・学生のアクションなど
4月	募集要項発表 ・内容を確認する ・締切までにスコアが取得できるよう、必要な場合、英語能力試験 (TOEFL iBT 等) に申し込む
4~5月頃	・プログラムの内容を確認し、申し込むプログラムを検討する ・2014年度所属の学部・研究科の授業スケジュールや個人の予定等を参考に、参加可能な時期を調べる ・募集要項をよく読み、応募書類の準備を進める
6月6日(金) 17時	応募書類提出締切 ※プログラム③「熱帯でフィールドワークに挑戦する」を希望する者は締切を <u>6月3日(火) 17時</u> とする
6月上旬~中旬	学内選考 ・選考が行われるため、メールや電話に注意しておく
6月中旬~下旬	選考結果通知 ・メールや電話に注意しておく
6月~7月頃	・オリエンテーションへの参加、事前学習など ・参加手続きなど
プログラム終了後	・報告書類等の提出

3. 資格・条件

以下の資格・条件をすべて満たすこと。

- (1) 本プログラムの奨学金は、個人・法人等からの寄附金や奨学金プログラムによる資金が充てられている場合があるため、資金提供者との懇談会への出席、報告書の提出、アンケート調査への協力等の依頼があった場合には協力すること。
- (2) 学内選考通過後の、留学プログラムへの各種手続きは、基本的に学生本人の責任で行うことになる。このため各種提出書類の準備や締切日の確認等を自ら主体的に行える者であること。(このような手続きの経験も含めて留学である。)
- (3) 留学期間を通じて、本学の学部又は大学院研究科・教育部の正規課程に在学する者。(プログラム

期間中に休学中の者は参加できない。)

(4) 各プログラムが求める参加資格を満たすこと。**※別紙参照**

(5) 履修において不利益とならないよう、夏学期の授業・試験日程、その他各自の予定等を申請前に十分確認し、参加が可能な場合のみ応募すること。(参加できる人数に上限があり、学内選考後に辞退すると他の学生の留学の機会を失うことにつながるため、原則として申請後に辞退することのないよう注意すること。)

(6) 本学の授業に一定期間出席できない場合等の取扱いについては、留学時の所属部局の判断による。本プログラムへの参加に際し必ずしも配慮が行われるとは限らないため、十分確認・納得した上で申請すること。

(7) 留学時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、本プログラムに申請することを事前に報告し、了承を得た上で申請書の所定の欄に署名を受けること。上記に該当する教員等がいない学生は、留学時に所属する予定の部局の担当部署にその旨報告・相談すること。

(8) 留学時に所属する予定の部局の担当部署に相談し、申請前に留学に関する学務上の留意点の説明を充分受け、申請書の所定の欄に署名をもらい、納得した上で申請すること。

4. プログラム応募・履修登録・単位等

①香港大学・東京大学合同サマープログラム (コード: ①HKU)

(1) 本プログラムへの参加を希望する全学生は、当該募集要項により必ず所定の期日までに応募すること。

(2) 本プログラムへの参加を希望する以下の学生は、履修登録期間中に必ず下記の授業に履修登録をしておくこと。学内選考により本プログラムへの参加が認められ、所定の要件を満たせば単位を取得できる。

・大学院学生：大学院学際情報学府授業科目「Information, Technology, and Society in Asia 129」
(科目番号 4971290)

※大学院博士課程教育リーディングプログラム「多文化共生・統合人間学プログラム」
履修生の場合は、「多文化共生・統合人間学演習Ⅲ」(科目番号 31D370-0220W)

・学部学生 (PEAK2 年生含む)：教養学部「国際日本研究特論Ⅱ」(科目番号 08C40332)

注：上記(2)について、履修登録期間中に当該科目を履修登録したことで、自動的に履修(プログラム参加)できる訳ではなく、本プログラムに参加するためには、あくまで本プログラムに応募し、学内選考で採択される必要があるため注意すること。

注：学部前期課程学生用の授業として設定されていないため、学部前期課程の学生は、単位を取得することはできない。

②国立台湾大学・東京大学合同サマープログラム (コード: ②NTU)

(1) 本プログラムへの参加を希望する全学生は、当該募集要項により必ず所定の期日までに応募すること。

(2) 本プログラムへの参加を希望する以下の学生は、履修登録期間中に必ず下記の授業に履修登録をしておくこと。学内選考により本プログラムへの参加が認められ、所定の要件を満たせば単位を取得できる。

・大学院学生：大学院学際情報学府授業科目「Information, Technology, and Society in Asia 143」
(科目番号 4971430)

注：上記(2)について、履修登録期間中に当該科目を履修登録したことで、自動的に履修(プログラム参加)できる訳ではなく、本プログラムに参加するためには、あくまで本プログラムに応募し、学内選考で採択される必要があるため注意すること。

注：学部学生の授業として設定されていないため、学部学生は、単位を取得することはできない。

5. 費用・奨学金

- (1) 所定の条件を満たした場合、授業料・宿泊費・航空賃の一部として奨学金 6 万円～8 万円（予定）を支給する。金額・条件はプログラムにより異なるため、別紙で確認すること。
- (2) 参加費用もプログラムにより異なるため、別紙で確認すること。奨学金を超える部分の授業料・宿泊料・航空賃・教材費・ビザ取得費用・保険料等、参加に要する経費は自己負担となる。
- (3) 奨学金は、プログラム終了後に支給する。参加費を一旦全額各自で支払う必要があるため、家族に相談する等の準備を進めておくこと。
- (4) 他団体等から奨学金を受け、当該奨学金支給団体側において奨学金の併給を認めない場合は、奨学金を受給できないので注意すること。
- (5) 国費外国人留学生については、本奨学金は授業料・宿泊費・航空賃の一部として用途を特定して支給するため、プログラム・期間によっては本奨学金を支給可能な場合があるが、国費外国人留学生制度の定めにより支給できない場合もある。詳細は所属部局の担当部署に確認すること。

6. 応募締切

平成 26 年 6 月 6 日（金）17:00

注：プログラム③「熱帯でフィールドワークに挑戦する」を希望する者は締切を 6 月 3 日（火）17:00 とする。

7. 応募方法

「応募書類」欄に記載の応募書類一式（電子ファイル及び紙媒体の両方）を 上記締切日必着で東京大学本部国際交流課（文京区本郷）へ提出すること。電子ファイルのものはメールで提出し、紙媒体のものは持参または郵送すること。

※メールの件名には必ず応募プログラム名と氏名を記載すること。

※書類に不備等ある場合、審査の対象としないことがあるため、各自で十分確認の上、作成・応募すること。

提出先：〒113-0033 文京区本郷 5-24-5 角川本郷ビル 2 階

東京大学本部国際交流課 夏季短期留学担当

メールアドレス：studyabroad@ml.adm.u-tokyo.ac.jp

地図：<http://g.co/maps/67qfv>

持参の場合の受付時間：土日祝日を除く 9:00～12:00、13:00～17:00

8. 学内選考

- (1) 原則として書類審査により東京大学本部での学内選考を行い、派遣学生を内定する。
- (2) 合否結果の連絡等についての連絡は E メールで行うため、応募後は定期的に E メールを確認すること。重要な連絡が迷惑メールフォルダに振り分けられてしまう例もあるため、迷惑メールフォルダも確認すること。
- (3) 学内選考後、参加が可能なのは原則として第一希望・第二希望のいずれか 1 プログラムとなる。
- (4) より多くの学生に海外体験の機会を提供するため、過去に同じプログラムへの参加経験がある学生が当該プログラムに再度申請する場合は、学内選考や奨学金支給の際に優先順位が低くなる。
- (5) 選考結果は、6 月中旬～下旬頃、E メールで学生本人及び所属部局の担当部署に通知する。
- (6) 派遣候補学生として内定する前に、やむを得ない事情で申請を取り下げの場合には、早急に本部国際交流課へ知らせること。

9. 学内選考通過後の留意事項

- (1) 学内選考を通過した場合でも、当該プログラムへの参加が認められなかった場合や、手続き不備により参加できなくなった場合等は、奨学金を支給しない。
- (2) 参加手続き及び渡航手続き、査証（ビザ）取得手続き等は、派遣先大学の指示に従い、また、留

学先の国や地域の大使館等で必ず最新の情報を得て本人の責任により行うこと。また、これらに要する費用も本人の負担となる。書類不備や締切日の確認漏れ等の理由でプログラムに参加できなくなった場合は本人の責任とし、奨学金は支給しない。

- (3) やむを得ない事情により参加を辞退しなければならない場合は、早急に所属する部局の担当部署を通じて本部国際交流課へ連絡すること。
- (4) 所属部局の担当部署に確認し、必要な場合は「留学」等の海外渡航に必要な手続きを行うこと。
(必要な手続きは、所属部局毎に異なる。)
- (5) 指導教員等の関係者には事前に連絡するなどして、海外に一定期間派遣されることにより関係者に迷惑をかけないように努めること。
- (6) 一般的な留学のための情報や危機管理等については、Go Global ウェブサイトを参照すること。
(<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/voyage/>) 特に、危機管理ガイドブックは必ず熟読すること。また、参加期間をカバーする海外旅行傷害保険等に各自必ず加入して渡航すること。
- (7) オリエンテーションを開催する予定であるため、やむを得ない事情がない限り必ず参加すること。
- (8) 奨学金受給者が、前述の申請資格に反する事実が判明した場合、又は受給者として適当でない事実があったときは、既に支給した奨学金の全額又は一部を返納させる。また、留学を中断・休止した場合も、既に支給した奨学金の全額又は一部を返納させることがある。
- (9) そのほか、東京大学が指示する注意事項に従うこと。

10. プログラム参加の際の注意事項

- (1) プログラムの趣旨を理解の上、十分な学習成果を挙げ、プログラムを修了することに努めること。
- (2) 参加学生は東京大学を代表する立場にあることを自覚し、滞在先の機関・国の法令、規則、規程、マナー等を遵守すること。

11. 参加後の報告等

- (1) 参加学生は、プログラム終了日から2週間以内(必着)に本部国際交流課が定める報告書(所定様式)、パスポートの写し(「本人氏名、写真等記載欄」と「日本の入国管理局による出入国印」のページ)を本部国際交流課へ提出すること。
- (2) プログラムによっては、上記以外にも報告書類の提出が求められる場合があるため、指定された期限内に提出すること。
- (3) 応募時の申請書に記載の住所や電話番号・メールアドレスに変更があった場合は、所属部局で所定の手続きを行うとともに本部国際交流課へも連絡すること。帰国後の成績証明書や修了証の送付・必要事項の連絡の際にも必要となる。
- (4) 参加学生には、帰国後、報告会や説明会への参加のほか、東京大学の国際化に関する業務への協力(留学プログラムの広報や学生へのアドバイス、アンケート調査等)を依頼する場合がある。依頼があった場合、やむを得ない事情のない限り協力すること。

12. 問い合わせ先

※メールで問い合わせる場合は、必ず件名・氏名・所属・学年・電話番号を明記すること。

- (1) 奨学金に関すること、応募方法に関すること：
東京大学本部国際交流課 学生・研究者交流チーム (studyabroad@ml.adm.u-tokyo.ac.jp)
- (2) 単位認定等、本学での学務関係の事項：留学時の所属部局の担当部署
各学部・研究科の担当部署一覧：
<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/contacts/inquiry.html>
- (3) 各プログラムの内容に関すること：別紙に記載の問い合わせ先

13. 応募書類

【様式電子ファイル ダウンロード先】

Go Global 東京大学海外留学・国際交流情報ウェブサイト

<電子ファイルで提出するもの>

- ①学内申請書のWordファイル (所定様式・署名前のもの)
- ②成績評価係数計算表のExcelファイル
- ③申請者情報シートのExcelファイル

<紙媒体で提出するもの> ※全てA4判・片面印刷で提出すること。

①学内申請書 (所定様式)

基本情報・希望プログラム・留学を希望する理由などを記載する。

※署名が必要な欄には必ず署名を入手すること。

※希望プログラムは第二希望まで選択可能だが、特別な事情がない限り、学内選考後の辞退は認められないため、真剣に留学の意思があるプログラムのみ記入すること。

※学内選考後、参加が可能となるのは、原則として第一希望又は第二希望のいずれか1プログラムのみとなる。

②成績評価係数計算表

※間違いのないよう入力すること。

③大学入学後全学期の成績証明書 (英文) の写し

※成績評価の基準 (何段階評価か、等) が説明されている部分も含めて提出すること。

※国内外を問わず、他大学に在籍していた経験がある者はその大学の成績証明書を入手し、A4判に揃えて提出すること。

④奨学金受給希望状況確認書

⑤誓約書

⑥英語能力を証明する書類 (プログラムごとに異なる。)

※ただし、本学で英語による学位取得コース (PRAK 等) に在学する学生は不要

①香港大学・東京大学合同サマープログラム (コード: ①HKU)

②国立台湾大学・東京大学合同サマープログラム (コード: ②NTU)

A. TOEFL iBT、IELTS、TOEIC (受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可とする)

B. 特別な事情 (英語圏の高等学校・大学を卒業、等) により、英語能力試験等を受験していない場合は、自身の英語能力を説明する理由書 (A4判1ページ、様式任意) を提出することができる。

③熱帯でフィールドワークに挑戦する (コード③: UNILA)

英語能力を証明する書類提出の必要はない。ただし、6月10日の面接・議論を通して英語でのコミュニケーションが困難であると判断される場合は、参加できない。

④シェフィールド大学サマープログラム (コード④SHEF)

⑤UC サンディエゴサマープログラム (コード⑤UCSD)

TOEFL iBT、IELTS、TOEIC (受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可とする)

※④、⑤プログラムは、英語中級レベル TOEFL iBT で 65-80 程度をターゲットとしている。すでに英語力が高い学生には不向きなプログラムであるため留意すること。

以上